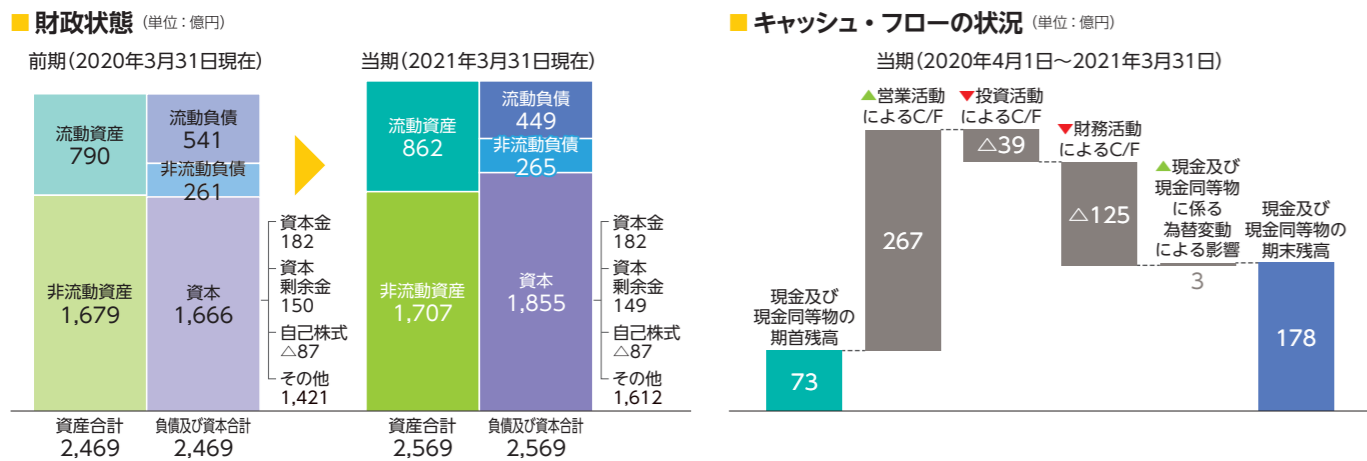
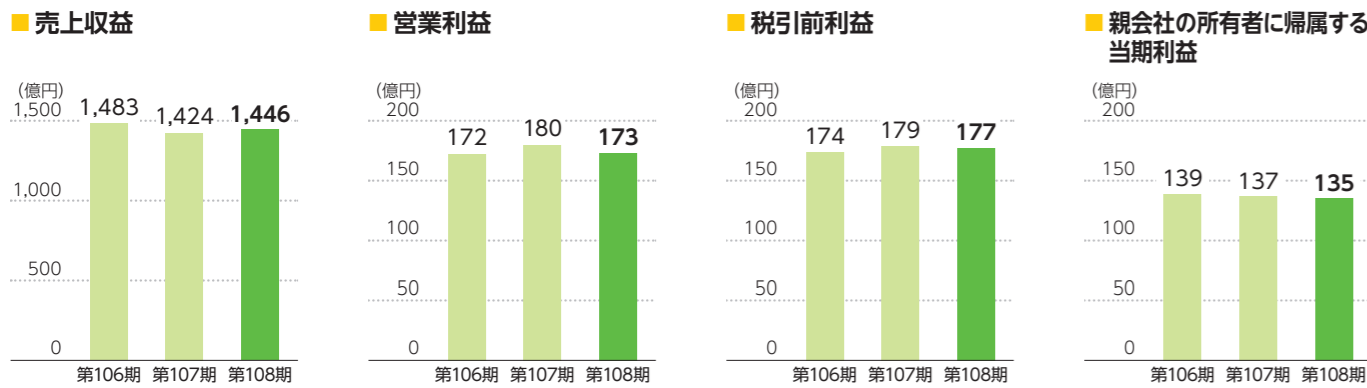




科目	第106期 (2018年度)	第107期 (2019年度)	第108期 (2020年度)
売上収益	(億円) 1,483	1,424	1,446
営業利益	(億円) 172	180	173
税引前利益	(億円) 174	179	177
親会社の所有者に帰属する当期利益	(億円) 139	137	135
基本的1株当たり当期利益	(円) 679.55	692.61	691.33
資産合計	(億円) 2,474	2,469	2,569
資本合計	(億円) 1,622	1,666	1,855
親会社の所有者に帰属する持分	(億円) 1,606	1,650	1,838
親会社所有者帰属持分比率	(%) 64.9	66.8	71.6
1株当たり親会社所有者帰属持分	(円) 7,922.58	8,453.07	9,418.64



※億円単位の金額は、端数を四捨五入して表示しております。

第108期剰余金の配当(期末配当)に関する取締役会決議

当社は、剰余金の配当等の決定に関して、中長期的な成長の実現に向け企業体質の強化を図るとともに将来の事業展開に備えること、および、安定的、継続的な配当を実施することを基本方針としております。
2021年4月20日開催の当社取締役会において、第108期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)の期末配当は、1株当たり85円とすることを決議いたしました。

1株当たりの配当金(円)

	107期	108期
中間	85	85
期末	85	85
年間	170	170

会社の概要 (2021年3月31日現在)

商号 株式会社クレハ
 英文社名 KUREHA CORPORATION
 本社 東京都中央区日本橋浜町3-3-2
 設立 1944年6月21日
 資本金 18,169百万円
 グループ従業員数 4,293名(単独:1,676名)
 連結対象会社数 30社(連結子会社28社、持分法適用会社2社)
 ホームページ <https://www.kureha.co.jp/>

役員 (2021年6月25日現在)

代表取締役社長 小林 豊
 取締役専務執行役員 佐藤 通浩
 取締役常務執行役員 野田 義夫
 社外取締役 戸坂 修
 社外取締役 樋口 一成
 常勤社外監査役 桐山 勝
 常勤監査役 吉田 徹
 社外監査役 押味 由佳子
 常務執行役員 西畑 直光
 常務執行役員 陶山 浩二
 常務執行役員 田中 宏幸
 執行役員 名武 克泰
 執行役員 米澤 哲
 執行役員 並川 昌弘
 執行役員 佐藤 浩幸

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 6月
 株主確定基準日 定時株主総会 3月31日
 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
 その他必要がある時は、取締役会の決議によってあらかじめ公告します。

公告方法 当社のWebサイトに掲載します。
 (https://www.kureha.co.jp/ir/stocks/koukoku.html)
 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲1-2-1
 みずほ信託銀行株式会社

株式の状況 (2021年3月31日現在)

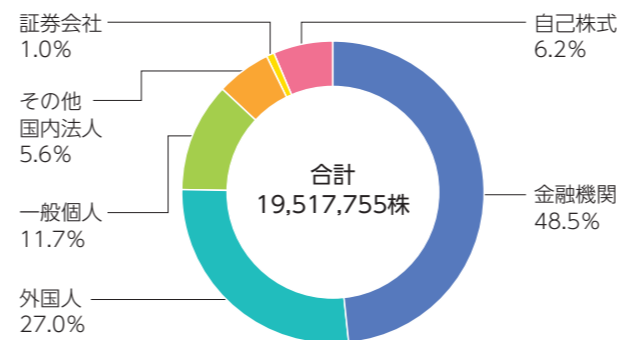
発行可能株式総数 60,000,000株
 発行済株式総数 19,517,755株
 株主数 10,740名

大株主の状況 (2021年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,031	10.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,603	8.2
明治安田生命保険相互会社	1,374	7.0
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	787	4.0
東京海上日動火災保険株式会社	550	2.8
株式会社みずほ銀行	400	2.0
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	333	1.7
みずほ信託銀行株式会社	266	1.4
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	258	1.3
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	249	1.3

注) 持株数は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。
 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

株式の所有者別構成比 (2021年3月31日現在)



お取扱窓口

証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、お取引の証券会社等へご連絡をお願いいたします。
 証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記のお取扱店にてお取次いたします。
 なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問合せください。

- お問合せ先 〒168-8507 東京都杉並区泉2-8-4
 みずほ信託銀行 証券代行部
 フリーダイヤル 0120-288-324
 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
- お取扱店 みずほ証券およびみずほ信託銀行^(※)
 (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
- 未払配当金のお支払 みずほ信託銀行^(※)およびみずほ銀行(みずほ証券では取次のみとなります)
 (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

株式会社クレハ
 KUREHA CORPORATION

クレハレポート
KUREHA REPORT

第108期 期末報告書
 2020年4月1日 ≫ 2021年3月31日



トップメッセージ

「クレハの挑戦」をやり抜く

株式会社クレハ
 KUREHA CORPORATION

証券コード: 4023

「クレハの挑戦」をやり抜く



Photo by Yukikazu Watanabe

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症に罹患された方ならびにご家族の方に心よりお見舞い申し上げますとともに、医療関係者の皆様やさまざまな場所で社会を支えてくださっている方々に心より敬意と感謝の意を表します。

当社第108期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)の「クレハレポート」をお届けします。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月

代表取締役社長

小林 豊

当期の概況について

わが国を含む世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、期初から内外経済が下振れする厳しい状況が急速に拡大しました。下期からは感染拡大の防止策が講じられ持ち直しの動きがみられたものの、先行きの不透明な状況が続きました。

このような状況のなか、当社は、従業員等の安全な労働環境を確保し感染予防と感染リスク低減に努めつつ安定的に事業活動を継続し、新型コロナウイルス感染症による生産・販売体制への影響は軽微でした。売上収益は、フッ化ビニリデン樹脂の売上拡大や環境事業の拡大により、前期比1.5%増の1,445億75百万円となりました。原油価格の急落により低迷したシェール産業を市場とするPGA(ポリグリコール酸)樹脂加工品が赤字に陥り、このPGA事業の環境変化に伴い減損損失16億24百万円を計上したこともあり、営業利益は前期比4.3%減の172億63百万円、税引前利益は前期比1.1%減の177億48百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益は前期比1.6%減の134億93百万円となりました。

なお当期末配当金は、当初の予想通り1株につき85円とさせていただきます。

中期経営計画 [Kureha's Challenge 2022]の策定について

当社は、「[技術立社]企業として、スペシャリティ・ケミカル分野において差別化された製品を開発し、社会に貢献し続ける高付加価値型企業となること」を目指し、中期経営計画[Kureha's Challenge 2020](以下、「KC2020」)に取り組んでまいりました。しかし

KC2020で掲げた経営目標は、「フッ化ビニリデン事業の更なる拡大」を除いて、未だ道半ばにあると認識しており、KC2020を2年間延長し、中期経営計画[Kureha's Challenge 2022](以下、「中計ストレッチFinal stage」)を策定しました。

中計ストレッチFinal stageでは、「高機能製品事業の拡大」、「既存事業の最適化」、「新規事業探索と育成」、「経営基盤の強化」を経営目標として掲げ、「やり抜く」姿勢(企業風土)を定着させるとともに、将来に向けて持続的な成長を果すための具体的目標とアクションプランを策定します。また当社の差別化された製品と技術により、カーボンニュートラルなど社会課題の解決に貢献する新たな事業の育成にも取り組みます。

2021年度の業績予想について

2021年度の業績予想につきましては、上期は新型コロナウイルス感染症の影響により先行きの不透明な状況が続くと見込まれますが、下期より収束に向かうと想定されます。売上収益は、PPS樹脂やPGA樹脂加工品の販売拡大により前期比3.8%増の1,500億円を予想するものの、環境事業における前期の一過性の売上げの減少や、原燃料価格の上昇と経費の増加等により営業利益は同13.1%減の150億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は同20.7%減の107億円を予想しております。

当社は、これからも「技術立社」企業としての存在感を高め、新たな価値を創出し社会に貢献し続ける高付加価値型企業となることを目指してまいります。



機能製品事業

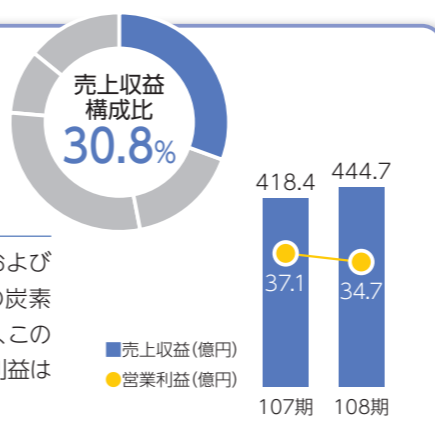
売上収益 **444.7** 億円 (前期比6.3%増)

機能樹脂分野

PPS樹脂およびシェールオイル・ガス掘削用途向けのPGA樹脂加工品は売上げが減少しましたが、リチウムイオン二次電池用バインダー向けのフッ化ビニリデン樹脂の売上げは増加し、この分野での売上げは増加しました。営業利益は米国合併事業の利益の減少などにより前期並みとなりました。

炭素製品分野

自動車部品用摺動材および高温炉用断熱材向けの炭素繊維の売上げが減少し、この分野での売上げ、営業利益はともに減少しました。



化学製品事業

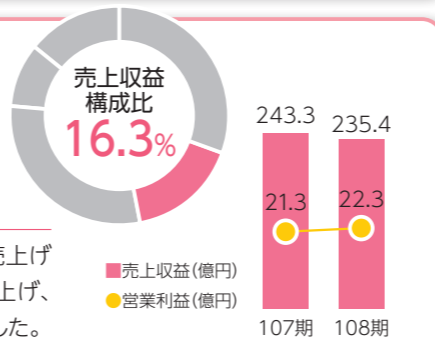
売上収益 **235.4** 億円 (前期比3.2%減)

医薬・農薬分野

慢性腎不全用剤「クレメジン」の売上げは減少しましたが、農薬・園芸用殺菌剤の売上げが増加し、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。

工業薬品分野

無機および有機薬品類の売上げが減少し、この分野での売上げ、営業利益はともに減少しました。



樹脂製品事業

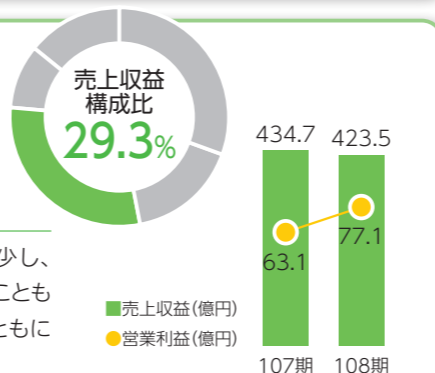
売上収益 **423.5** 億円 (前期比2.6%減)

コンシューマー・グッズ分野

家庭用ラップ「NEWクレラップ」およびフッ化ビニリデン釣糸「シーガー」の売上げが増加し、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。

業務用食品包装材分野

熱収縮多層フィルム等の売上げが減少し、前期にプローボトル事業の譲渡を行ったこともあり、この分野での売上げ、営業利益はともに減少しました。

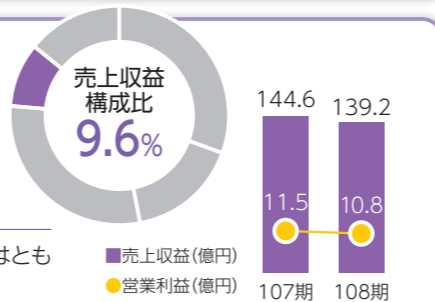


建設関連事業

売上収益 **139.2** 億円 (前期比3.7%減)

建設関連

公共工事は前期並みとなったものの民間工事の中止や延期により、売上げ、営業利益はともに減少しました。

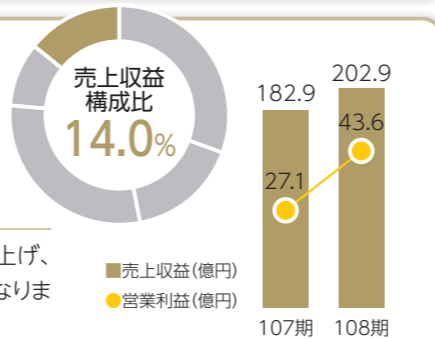


その他関連事業

売上収益 **202.9** 億円 (前期比10.9%増)

その他関連

環境事業では、産業廃棄物や一時的な災害廃棄物の処理および処分の増加により、売上げ、営業利益はともに増加しました。運送事業では、売上げ、営業利益はともに前期並みとなりました。病院事業では、売上げが減少し、営業損失は増加しました。



TOPICS

PPS樹脂プラント増強設備竣工～いわき事業所～

いわき事業所(福島県いわき市)内に建設を進めていましたPPS樹脂プラントの増強設備が竣工しました。PPS樹脂は機械強度、耐熱性、耐薬品性、難燃性に優れた高機能プラスチックで、自動車部品、電気・電子部品、住設機器など、さまざまな産業で広く使用されています。中でも、電動化へのシフトなど、大きな変化が訪れている自動車産業にとってPPS樹脂は不可欠な素材です。

このたび、年産5,000トンの生産設備を増強したことにより、当社は年産15,700トンの能力を持つことになりました。

高品質のPPS樹脂を安定的かつ効率的に供給する体制を整え、世界中で高まる需要に対応していきます。



*PPS: ポリフェニレンサルファイド (Polyphenylene sulfide)

「健康経営優良法人 2021」に認定されました

クレハは経済産業省と日本健康会議が共同で選出する健康経営優良法人認定制度の大規模法人部門において「健康経営優良法人 2021」に認定されました。

当社は従業員の健康がクレハグループの持続的成長を支える基盤と考えています。従業員が健康で生き生きと働き続けることができるように「健康基本方針」を定め、従業員の健康保持・増進を支援しています。また、コロナ禍では各職場における感染症対策の実施や、テレワークの推進など、感染拡大を防止する対応を続けています。



2021年6月25日
東京都中央区日本橋浜町3-3-2

株式会社クレハ

代表取締役社長 小林 豊

第108回 定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、6月25日開催の第108回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

記

- 報告事項**
- 第108期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 - 第108期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)計算書類報告の件

- 決議事項**
- 第1号議案 取締役5名選任の件**
本件は、原案のとおり承認可決され、小林 豊、佐藤 通浩、野田 義夫、戸坂 修、樋口 一成の5名が再選、重任いたしました。
- 第2号議案 取締役に対する賞与支給の件**
本件は、原案のとおり承認可決され、当期の業績等を勘案し、業績連動賞与として、社外取締役を除く当期末の取締役3名に対し、総額70,000千円の役員賞与を支給します。